

事務事業名	環境保全推進事業		会計	一般会計	事業種別	経常	開始	10	終了	
H27担当課等名	環境モデル都市推進課	H27係等名	地球温暖化対策係		H26係等名	地球温暖化対策係				
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開							
目的	対象(誰・何を)	市民、21いいた環境プランに掲げた環境目標				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	環境保全活動が継続的に展開されるようにする					飯田市の人口(人)		102446	
	向上させたい上位施策の成果指標	環境負荷低減活動(省エネ・節電・節水等)を継続的に実施している市民の割合								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	環境審議会に付議された事案数(件)			1	1	1	2		
	成果指標	市民会議、環境審議会、地区担当者会、パブリックコメントなど参加人数(人)			20	17	40	100		
	定性目標									
事業概要	1 環境政策を的確に行うための環境審議会運営 2 環境政策、情報収集を行うための事務的一般経費									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 環境審議会の運営 2 環境政策立案のための情報収集等				1 開催回数			1 1回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		483	608	546	956	27年度から環境計画進行管理事業費を統合				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		483	608	546	956					
人件費計(千円)②		358		358						
正規職員所要時間		100		100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		841	608	904	956					
事業内容・目標達成状況の振り返り	計画通り環境審議会を運営することができた。									
改革改善の考え方	①問題点	審議会の開催が年度末になっており、当該年度の環境政策に委員からの意見を反映することができていない。								
	②改革提案	環境レポート作成を早め、前年度の取り組みを踏まえた今後の環境政策のありかたに関する審議会委員の意見を反映させていくために、審議会の開催を繰り上げる。								